

2021年1月6日

鹿児島大学病院集中治療室で
感染症もしくは、その疑いがある治療を受けた患者さんへ
(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院救急集中治療科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

敗血症患者における血清 DAMPs 値と予後との関連（単施設観察研究）

【研究機関】

鹿児島大学病院 救急集中治療科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 救急集中治療科
教授 垣花 泰之

【研究の目的】

敗血症の重症度や生死との関連の深い指標を調べ、今後の診療に役立てたいと考えています。

【研究の方法】

2018年6月1日～2019年11月28日までに当院集中治療室に感染症もしくはその疑いで入室した患者の匿名化された背景情報ならびに保存

血漿・血清を用いて解析を行います。なお、背景情報ならびに残余血漿・血清の保存については、既に倫理委員会の承認を得たうえで進められていて、匿名化されたものが利用可能であるため、個人情報が出ることはいりません。

【対象となる患者さん】

2018年6月1日から2019年11月28日までに、鹿児島大学病院集中治療室で「研究課題名：全身性炎症反応症候群（SIRS）の病態における予後予測因子の探索」に参加された患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

本研究では、匿名化された患者データならびに保存してある日常診療の残余血漿・血清を用いて再解析します。

匿名化された患者データには、以下の項目が含まれます。個人が特定される情報は含まれません。

年齢・性別・病名・治療内容・ICU入室期間・転帰などの患者背景情報、APACHE II スコアおよびその項目、SOFA スコアおよびその項目、DIC スコアおよびその項目

保存してある 日常診療の残余血漿・血清を用いて、以下の項目を測定します。

FDP、プロトロンビン時間、D-ダイマー、フィブリノゲン、アンチトロンビン、TAT、ヒストン、cell-free DNA、HMGB1、ニコチンアミド、NAD⁺、NADP⁺、血管内皮細胞障害能

資料・情報の管理責任者：救急集中治療科 教授 垣花泰之

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報はありせん。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できることはありせん。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科救急・集中治療医学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。本研究は、研究者が企業とは独立に計画し、実施、運営、解析、報告を行います。研究分担者が所属している寄付講座は、本研究の測定項目に関わる株式会社シノテストから寄附金の提供を受けていますが、本研究を実施するためのものではなく、広く一般的な学術研究の振興のためのものであり、研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすことは決してありません。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 救急集中治療科

教授 垣花 泰之

電話 099-275-5646 FAX 099-275-5654